

登録コード	E5021900	開講年度	2026					
授業科目	STEAM教育授業づくり					担当教員	島田 英昭	
英文授業名	Lessons design for STEAM education					副担当	植原 俊晴・小倉 光明・茅野 公穗	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	水曜・午後(13:00-17:50)		対象学生	4年生
講義室	教育図書 2 階講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
		2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ						
		教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識を得て、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。		
		教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識を得て、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。		
		他者と協働して教育活動をつくる社会的スキル				STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識を得て、者と協働して教育活動をつくる社会的スキルを身につける。		
		理論と実践を往還する省察と改善の態度				STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識を得て、理論と実践を往還する省察と改善の態度を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」		その他						
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要		STEAM教育の先行実践例を踏まえて、STEAM教育の背景としての様々な研究分野を連携させた初等・中等教育におけるSTEAM教育の授業づくりを学ぶ。各自、STEAM教育授業のねらいや課題設定をはじめとする授業をデザインし、その授業デザインについてグループで議論し、相互評価を踏まえて授業デザインをブラッシュアップするとともにSTEAM教育の授業づくりを省察する。						
(5)授業計画		第1回：ガイダンス、授業作り演習（テーマ：学習科学）（島田） 第2回：STEAM授業作り（30分×2人＋振り返りコメント提出）【遠隔等】 第3回：STEAM授業作り（30分×2人＋振り返りコメント提出）【遠隔等】 第4回：授業デザイン候補選定・デザインづくり（対面、適宜学生同士のFB） 第5回：グループ活動1 第6回：グループ活動2（FBを踏まえて洗練） 第7回：最終課題を作成（再洗練）してClassroomに提出、他者の提出課題の閲覧、省察等振り返りの提出 授業の進め方についての注意事項 ○第2回と第3回は、第5回参加までに視聴・コメントを終えていること。 ○受講者の関心や時事的な背景に応じて内容を変更することがある。 ○授業アンケートを実施する。						
(6)成績評価の方法		●以下を総合して判定する。 課題の提出状況（80％）、グループ活動への参加状況（20％） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準		【卓越している】STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識について、高い水準にある。 【その水準にある】STEAM教育授業づくりに関する基礎的な知識について、一定水準にある。						
(8)事前事後学習の内容		●授業内の指示に基づいて課題に取り組み、提出する。 ●関連する内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意		●STEAM教育認定プログラムにエントリーした学生のみ受講できる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先		原則としてメールで対応する。連絡先はeALPSを参照する。						
【教科書】		指定しない。						
【参考文献】		内容に応じて随時紹介する。						